

琵琶湖ヨット倶楽部週報(10-7-7号)

(1) 京都の洪水

六月廿八日午後九時半頃から降り続く大雨で京都は未曾有の大洪水に襲はれました。會員各位の内には多大の損害を蒙られた方もおありでせう。心から御慰問申します。せめて御家族様方に御怪状や御病気の音も下を御祈り致します。

(2) 琵琶湖の増水

あの豪雨で琵琶湖は非常に増水致しました。帆走面積が廣くなったのが赤へないのです。艇庫前の水深が急ぐようになったので艇を上へ上へと移して行かねばなりません。三十日も上田様方から鷹接を託って艇の処置をして貰ったやうな始末です。然し一々天候も只今(四日午後五時)では梅雨景色も去つたやうですから大雨は降りまされぬ其の内に晴天が二三日続けば再築中の艇庫は完成するにせうから、増水で艇の心配をせねばならぬ事も先づ解消します。

(3) 阪大対同志社、阪大先輩対琵琶湖の對抗レース

前号にて縁組の通り来る七日の日曜の午前十時から阪大対同志社新人のレースが開かれます。時間の餘裕があるなら阪大先輩軍と琵琶湖ヨットクラブとの對抗レースをしようと思はれて居ます。残りは兼ねてレースを致します。

(4) 新艇庫内の設備

艇庫が再築されて内部のもの(例へば足拭マット、ホーク、雑巾と云ふ類のもの)を會員の持寄りで整へたいと思ひます。その福引(引當したものを各家庭から持寄り)を七日の午後に行ひます。御欠席の方からは代理でよい福を引いて御返事(週報に)致します。二十一日の竣工式に同じ金子様御持寄を致します。

(10-7-4) 宣時